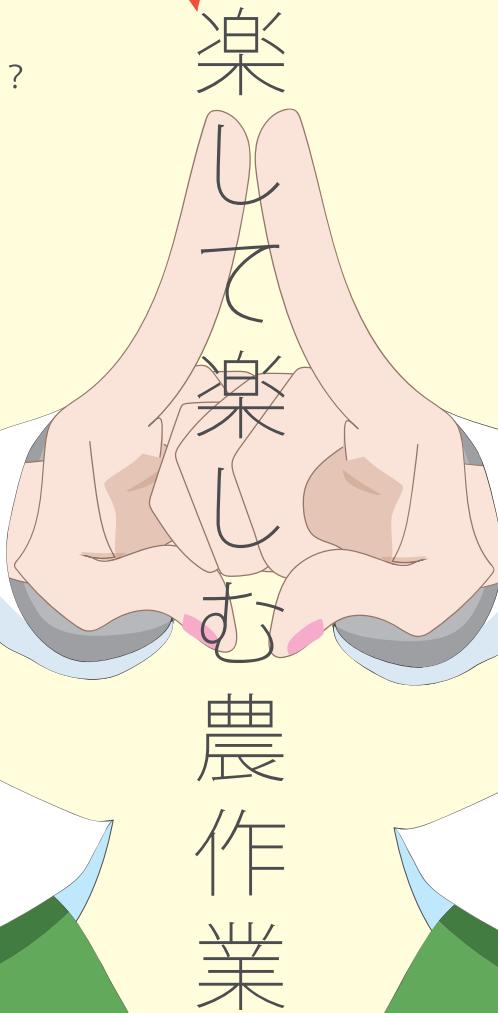
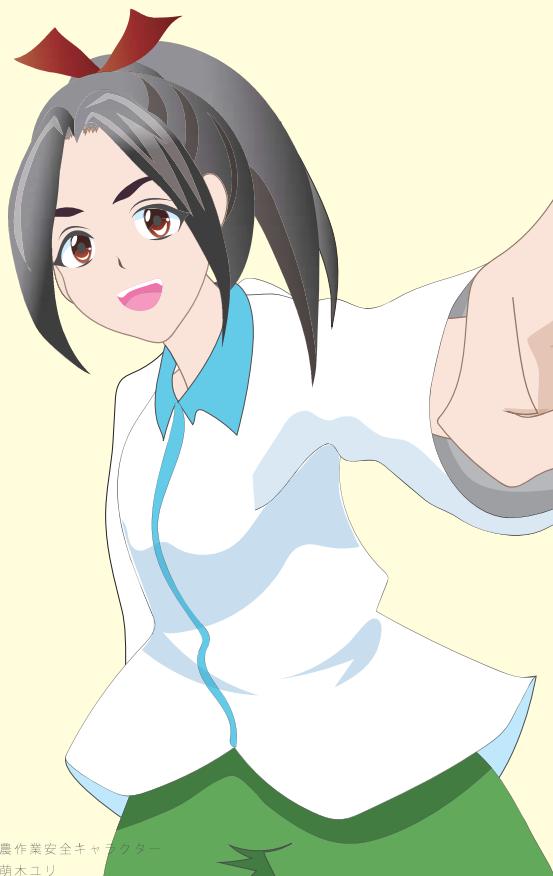


SAFETY FIRST 農作業安全

# 今日も一日ご安全に!

2020

安全のための工夫  
畑で怪我をするはどうなる?  
聴力を守ろう



農作業安全キャラクター  
萌木ユリ

農作業安全キャラクター  
若狭エリ

電動ファン付きなら苦しくない!  
ホコリが多い作業では防塵マスクを着用しよう  
トラクターやハーベスターに乗る時は騒音対策をしよう  
機械作業ではイヤーマフを着用しよう  
物理的な外傷と紫外線から目を保護できるね  
屋外作業ではサングラスを着用しよう

KAGOSHIMA

鹿児島県農業機械連絡協議会

# なぜ事故は起るのか

農作業事故は、日常のシャンプーとリンスを間違うような誰にでも起こる出来事なのです。

事故は、起こる瞬間に突然現れるのではなく、その前から伏線があります。事故の予兆は、機械の不具合や

体調不良、気象条件の急な変化など多様です。本人は、「大したことないだろ」と、そのサインを無視します。

都合のわるいことから目をそらしたり、過小評価する心理は誰にでも起ります。

事故の前兆に気付かながら自覚ができず、「冷静に間違った行動」を続けます。

私は、農作業安全研修会の講師として「機械が振動して、異音が

したら即作業中止して点検整備」と伝えています。

自分で草刈機を使っていた時に、振動がだんだん大きくなつてきました。最後は、強く握らないとハンドルが手から離れるぐらいの強い振動でした。機械が明確な「作業中止の合図」を送っている状態ですね。

しかし、頭では「この強い振動に負けないぞ!」と

考え、作業中止という行動は思いつきませんでした。

正常性バイアスに飲み込まれ、冷静に間違った行動をしていたのです。

次の瞬間、振動が無くなり竿が折れて刃が飛んでいました。ケガはしませんでしたが、

明確な異常を感じながら作業を中止することができませんでした。

少しでも「おかしい」と感じたら正性バイアスに負けずに作業を中止して一息入れましょう。



# 睡眠は大切

収穫や出荷調整の最盛期には、睡眠時間を削って作業しがちです。ペンシルベニア大学とワシントン州立大学で行われた睡眠時間の実験があります。

実験の結果、6時間以下の睡眠を2週間続けていると2日徹夜したのと変わらない状態まで脳の処理能力が落ちることがわかりました。

寝不足は蓄積されて、判断能力の低下は、自分では気付くことができないことが問題なのです。

睡眠不足で、肉体労働を行うことで疲れは最大になり事故につながります。

睡眠時間は、7時間以上必要です。



# 頑張ると危険な熱中症

熱中症は無理すると重症化し、突然体が動かなくなり倒れます。暑い日の居眠りは、血流不足で失神の可能性が高いのです。突然の失神により、転倒して頭部や顔面を骨折する事故も起きています。

熱中症初期は頭が痛くなります。脱水状態で頭痛薬を飲むと血管収縮により血流が制限され腎虚血を招き急性の腎障害の危険性があります。血流が少ない状態が続くと、慢性の腎臓病になる危険が高まります。

熱中症は水分不足で血がドロドロになります。熱中症の症状の他に、片側の腕や顔に麻痺があれば脳梗塞の可能性が高いのですぐに救急車を呼んでください。

また、高熱なのに寒く冷たい汗が出たら救急車です。

初期の脱水状態を簡易に診断する方法です



## 非常時の携帯機能

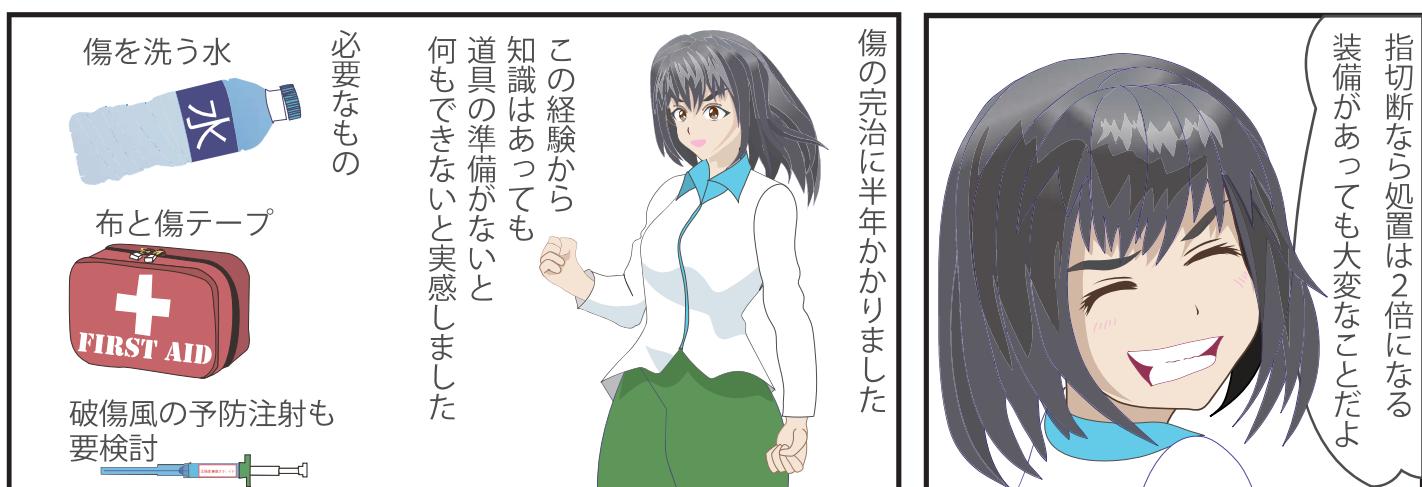
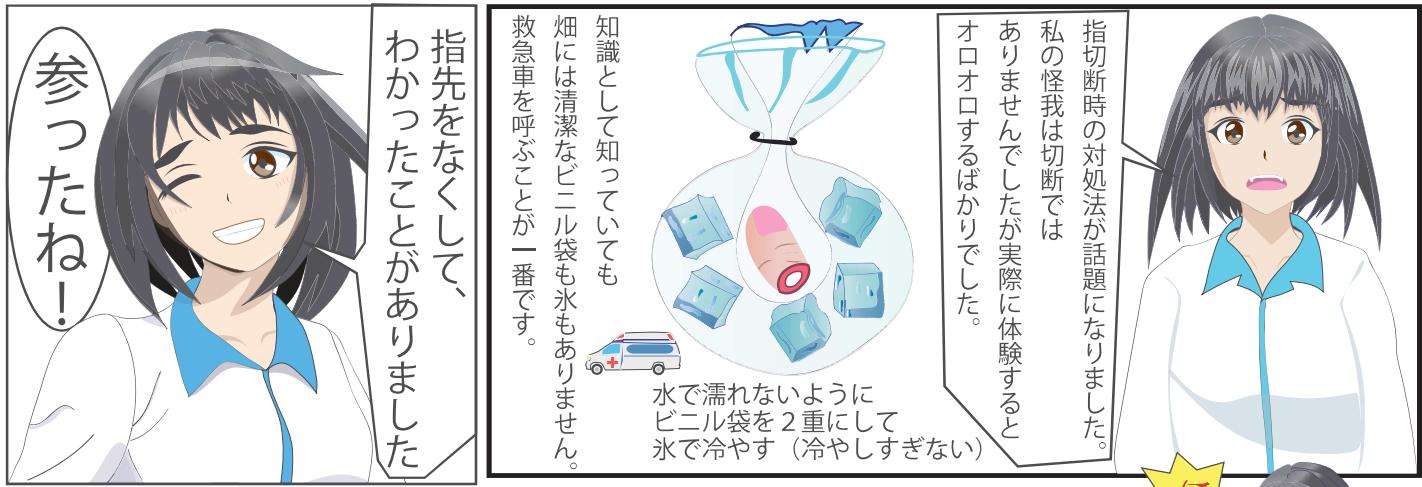
携帯電話は、非常時の連絡に役立ちます。

加えて自身の意識のない時にも有効な使い方があります。スマートフォンのロック画面には緊急時に他人が確認できる「＊メティカルID」という項目があります。

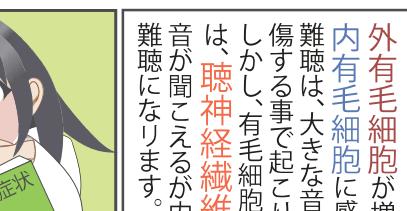
そこに名前、持病、アレルギー、服用薬、臓器提供の意思、

血液型、緊急連絡先などを登録できます。





# 農作業中の騒音から聴力を守ろう



引用 Hidden Hearing Loss  
(SCIENTIFIC AMERICAN August 2015)  
日経サイエンス 2015年11月

